TAC

令和元年度秋期 情報処理技術者試験

情報セキュリティマネジメント　講評

【午前】

50 問のバランスは以下のようになっていました。問 1～30 の情報セキュリティ分野については，従来と比較すると分野ごとに問題が固まって配置されておらず，ややランダムに配置されている印象を受けます。

・情報セキュリティ管理(基礎理念，各種ガイドラインなど)：7 問

従来傾向に沿った形で，JIS Q 27000 シリーズ，内部不正防止ガイドラインなどから用語の定義などが出題されました。今回は“中小企業の～対策ガイドライン”からの出題はゼロでした。

・各種脅威とその対策：11 問

BEC(ビジネスメール詐欺)やリバースブルートフォースなど，トレンドに沿った初出の問題もいくつか見られますが，バックドアや C&C サーバなど，頻出テーマも同程度含まれています。

・情報セキュリティ技術(暗号化，PKI，実装技術など)：12 問

やや出題数が増えている印象です。内容も踏み込んだものが少なからず含まれています。

・法務　(6 問：問 31～問 36)

情報セキュリティ関連の法規に関する出題が少なく，派遣や就労規則などの労働に関する問題が目立つ構成となっています。初出の問題は難易度が高めになっています。

・その他の分野　(14 問：問 37～50)

分野ごとの出題バランスはほぼ従来どおりです。見慣れない用語がやや多く登場しています。

過去の情報処理技術者試験からの流用改変と判断できるものは 50 問中 23 問程度で，ここ最近の中ではやや少なめです。ただし，過去 SG 試験からの流用数は 16 問と，逆に多くなってきました。

難易度については，前回と同様にやや高めと評価しますが，過去問題演習をしっかり重ねていればかなり緩和できたでしょう。

【午後】

午後問題の内容は次のようなものでした。

問 1： EC サイトのセキュリティ改善

EC サイトにおける利用者 ID とパスワードの運用について，複数の攻撃への対策を考察する。

問 2：アカウント乗っ取りのインシデント対応

なりすましを題材に，調査分析の進め方などについて考察する。

問 3： 業務委託におけるセキュリティ

コールセンタ業務を委託する際の，PC 管理や物理的セキュリティなどについて考察する。

ページ数はそれぞれ 13，14，14 で，前回同様でした。問 1 がかなり平易なため，時間はかなり余裕があったでしょう。前回のレッドチームや CVSS のように高度な知識・理解が求められる場面は少なく，パスワードやアカウント管理，認証に関する基本知識があれば，あとはパズルを解く要領で読み解くことができます。

以上を考慮し，午後試験の全体的な難易度は前回と同程度か，微減と評価します。ここ数年で緩やかに難易度上昇を続けていた午後試験が，一定の水準で落ち着いてきたとみることもできるでしょう。

【予想配点】

〔午前〕

問 1～50：各 2 点

〔午後〕

問１：34 点

設問１　(1)　a … 2 点

(2)　b … 2 点

(3)　c … 3 点

(4)　3 点

設問２　d … 3 点

設問３　(1)　e … 3 点

(2)　f … 3 点

(3)　3 点

設問４　(1)　g … 3 点

(2)　h … 3 点

設問５　i～k … 各 2 点×3

問２：34 点

設問１　(1)　3 点

(2)　4 点

設問２　(1)　a … 3 点

(2)　3 点

(3)　b … 3 点

(4)　3 点

(5)　3 点

設問３　4 点

設問４　(1)　c … 4 点

(2)　d … 4 点

問３：34 点

設問１　(1)　a … 3 点

(2)　3 点

設問２　b …4 点

設問３　(1)　c … 3 点

(2)　d，e … 各 3 点×2

(3)　4 点

(4)　4 点

設問４　(1)　3 点

(2)　4 点

（午後試験の合計は上限を 100 点とする）

以上